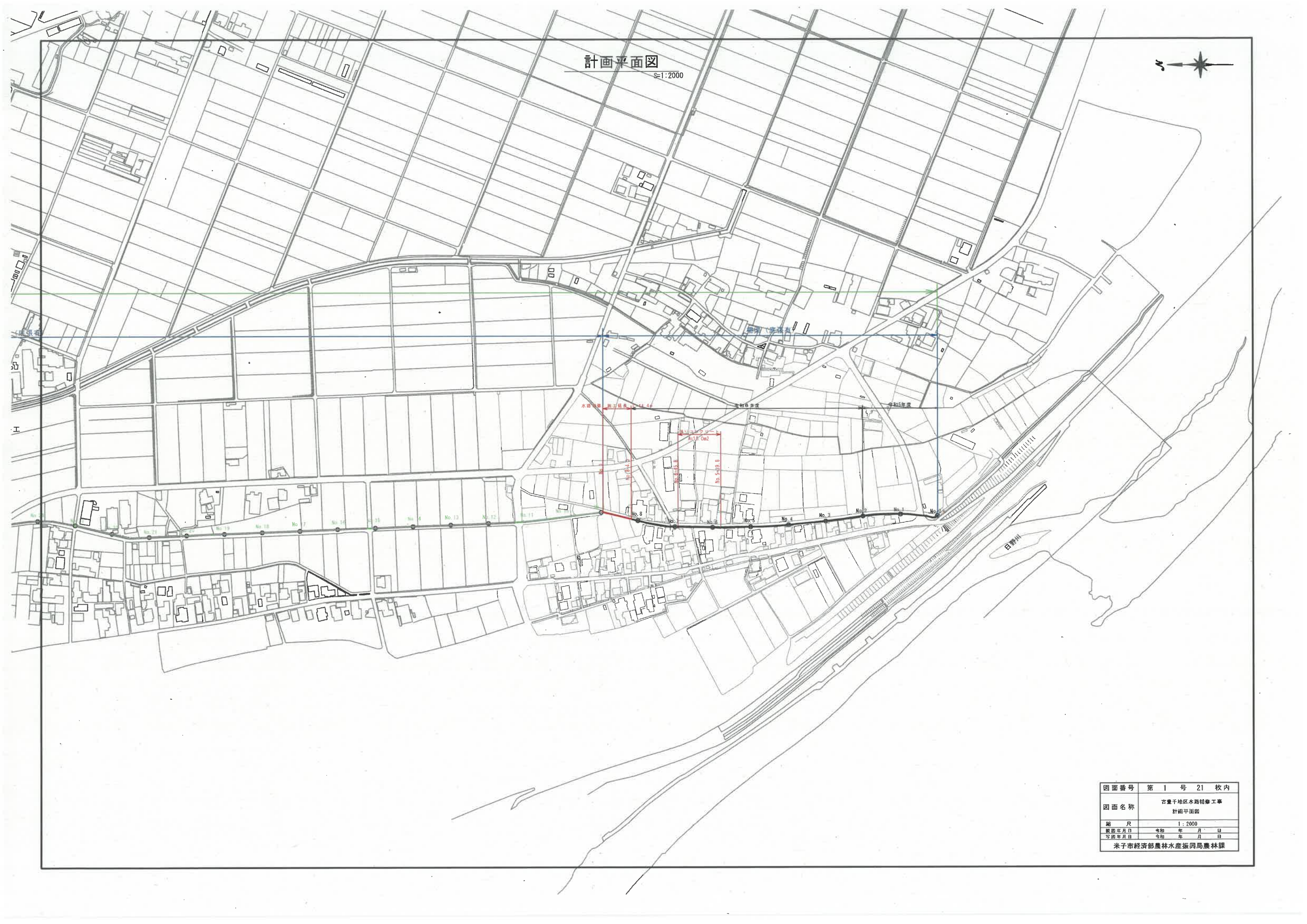


計画平面図

1:2000



図面番号	第 1 号 21 枚内
図面名称	古堂千地区水路補修工事 計画平面図
縮 尺	1:2000
製図年月日	令和 年 月 日
写真年月日	令和 年 月 日
米子市経済部農林水産振興局農林課	

計画平面図

S=1/2000



現場排水路

用水路補修 L=228.9m

用水路補修
L=8.6m

用水路補修
L=8.0m

用水路補修
L=7.1m

用水路補修
L=5.7m

整地排水路

排水路（既設）

用水路補修
L=4.8m

根継コンクリート工
L=5.0m

調査区間番号

ポリテクセンター米子

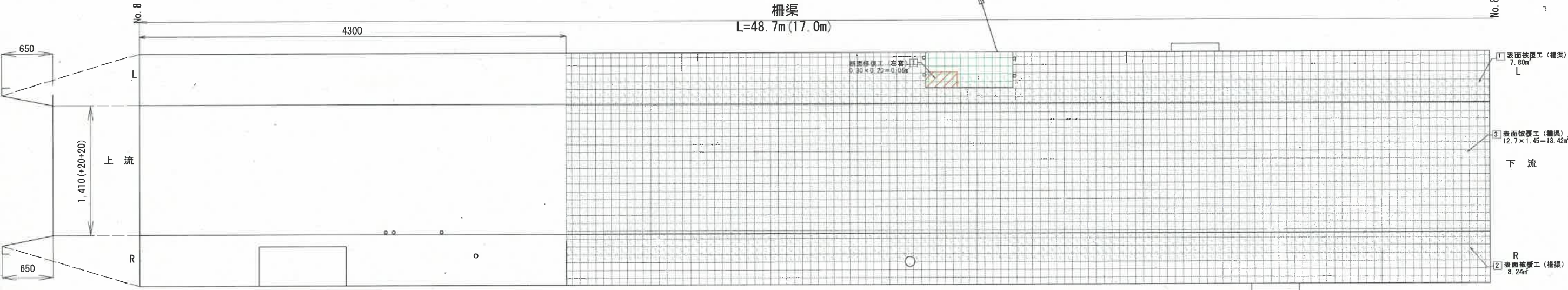
至 松江

図面番号	第 2 号 21 枚内
図面名称	古豊千地区水路補修工事 計画平面図
縮 尺	1:2000
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市経済部農林水産振興局農林課	

地区名	東豊田用水路	施工年度	昭和48年
測点	No. 8~No. 8+48.7	縮尺	図示

補修図 (1) (No. 8+4. 3~No. 8+48. 7) (1/3)

S=1:50

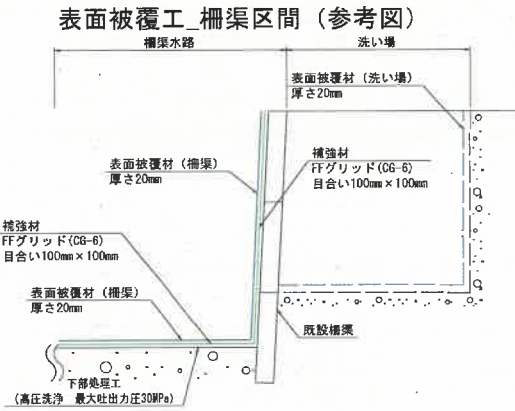


凡例	
クラック 1.0mm未満	ひび割れ注入工
クラック 1.0mm~5.0mm	ひび割れ充填工
クラック 5.0mm以上	
粗骨材剥落	表面被覆工
粗骨材露出	
粗骨材露出	表面被覆工 (被覆厚30mm)
石積露出	表面被覆工 (被覆厚30mm)
欠損、剥離、浮き、ジャンカ	断面修復工 (修復深さ50mm)
目地劣化・欠損	目地充填工
開き	断面修復工 (充填・修復深さ50mm)
表面被覆工	表面被覆工 (石積: 被覆厚30mm)
	表面被覆工 (側壁: 被覆厚6mm)
	表面被覆工 (底版: 被覆厚10mm)
	表面被覆工 (欄干: 被覆厚20mm)
土砂埋積	土砂除去
	張りコンクリート
埋め戻し	埋め戻し

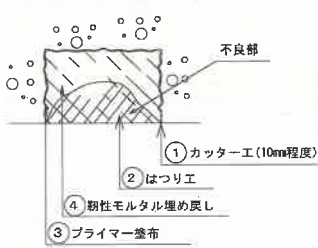
水路施設一覧表				
番号	施設	位置	測点	備考
①	洗い場	右岸	No. 8+1.5~2.6	
②	塩ビ管(φ50)	右岸	No. 8+4.2	
③	塩ビ管(φ125)	右岸	No. 8+9.7	
④	洗い場	左岸	No. 8+9.9~11.0	
⑤	床版	左岸	No. 8+13.0~13.8	
⑥	床版	右岸	No. 8+14.0~14.6	
⑦	塩ビ管(φ150)	左岸	No. 8+33.7	
⑧	塩ビ管(φ100)	左岸	No. 8+39.4	

表面被覆工 (単位: m2)		
番号	t=20mm (洗い場)	t=20mm (欄干)
①		7.80
②		8.24
③		18.42
④	1.30	
⑤		11.05
⑥		11.05
⑦		23.97
⑧		9.55
⑨		9.55
⑩		20.72
合計	1.30	120.35

断面修復工 (左官)	
番号	数量 (m2)
①	0.06



断面修復工_左官 (参考図)



※はつり工の深さは50mmと想定した。
①~④は施工順序を示す。
はつり内に鉄筋が存在した場合、防錆処理を行うこと。

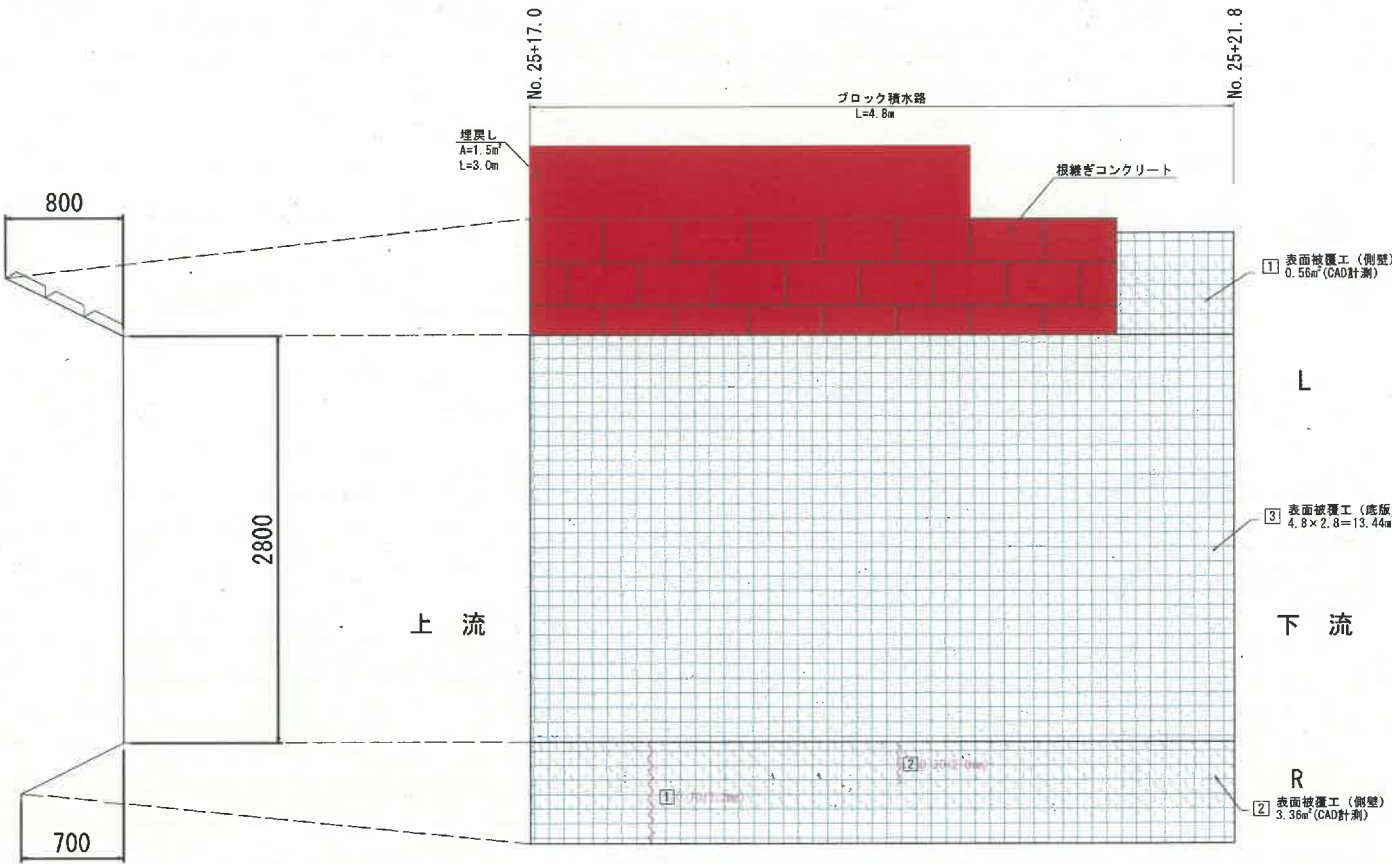
図面番号	第 3 号 21 枚内
図面名称	古豊田地区水路補修工事 補修図 (1) (No. 8+4. 3~No. 8+48. 7) (1/3)
縮尺	図示
製図年月日	令和 年 月 日
承認年月日	令和 年 月 日
米子市経済部農林水産振興局農林課	

施工上の注意
・本図面は簡易計測結果を基に作成しているため、施工にあたっては、事前に現地調査を行うこと。
・必要に応じて協議により補修内容・数量を決定すること。

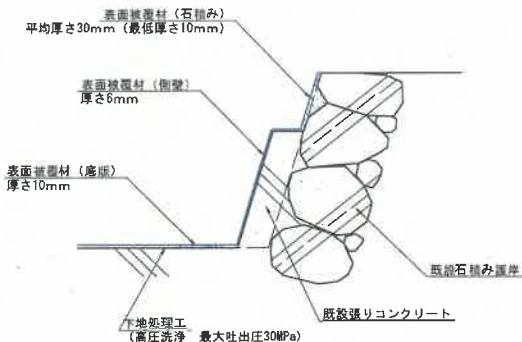
地区名	東豊田用水路	施工年度	昭和48年
測点	No. 25+17.0 ～No. 25+21.8	縮尺	図示

補修図 (2) (No. 25+17.0～No. 25+21.8)

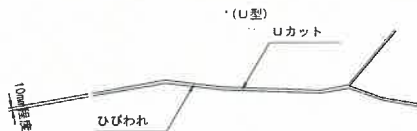
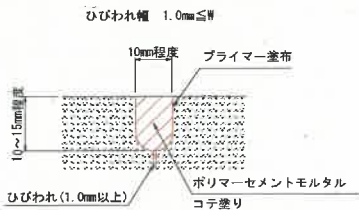
S=1:50



表面被覆工_コンクリート水路 (参考図)

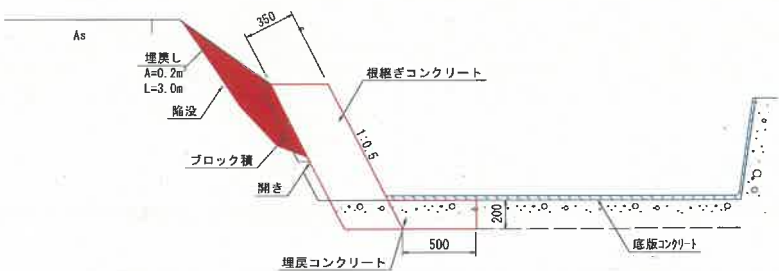


ひびわれ充填工 (参考図)



凡例		
クラック 1.0mm未満		ひび割れ注入工
クラック 1.0mm～5.0mm		ひび割れ充填工
クラック 5.0mm以上		
粗骨材剥落		
細骨材露出		表面被覆工
粗骨材露出		
石積露出		表面被覆工 (被覆厚30mm)
欠損、剥離、浮き、ジャンカ		断面修復工 (修復深さ50mm)
目地劣化・欠損		目地充填工
開き		断面修復工 (充填:修復深さ50mm)
表面被覆工		表面被覆工 (石積み:被覆厚30mm)
		表面被覆工 (側壁:被覆厚6mm)
		表面被覆工 (底版:被覆厚10mm)
		表面被覆工 (堰端:被覆厚20mm)
土砂堆積		土砂撤去
張りコンクリート		張りコンクリート
埋め戻し		埋め戻し

7号埋め戻し工 (数量参考図)



根継ぎコンクリート

No. 25+17.0～No. 25+21.0

表面被覆工 (単位: m²)

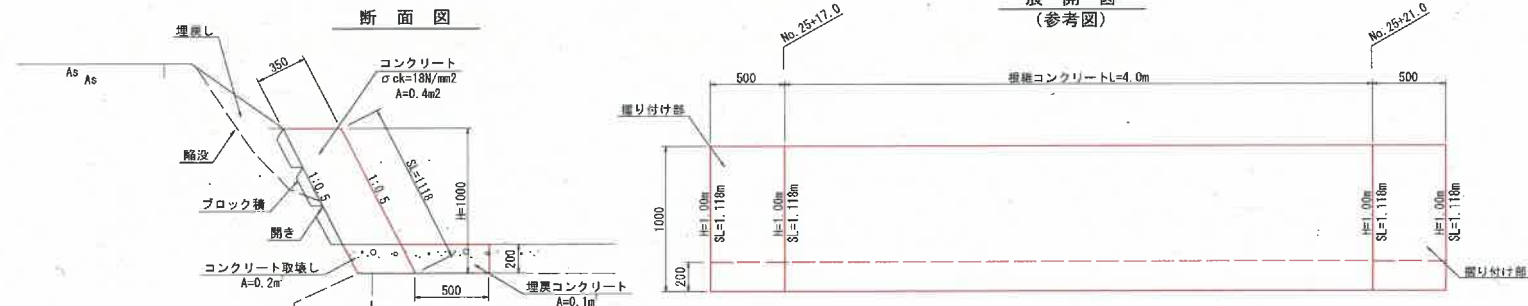
番号	t=6mm (側壁)	t=10mm (底版)
①	0.56	
②	3.36	
③		13.44
合計	3.92	13.44

埋戻し

番号	面積	延長	体積
①	1.50	3.00	4.50
合計	1.50	3.00	4.50

ひびわれ延長 (単位: m)

番号	1.0mm未満 (注入工)	1.0mm～5.0mm (充填工)	5.0mm以上 (充填工)
①		0.70 (2.2mm)	
②		0.30 (2.0mm)	
合計		1.0	



展開図
(参考図)

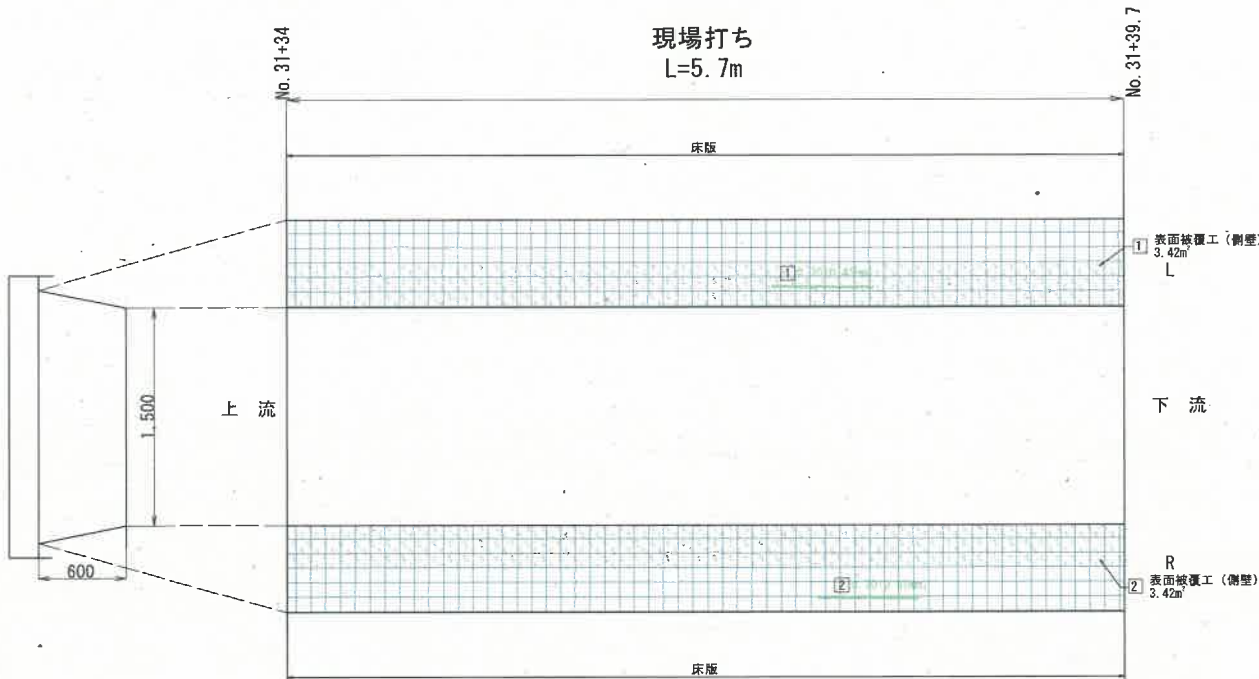
施工上の注意
・本図面は簡易計算結果を基に作成しているため、施工にあたっては、事前に現地調査を行うこと。
・必要に応じて協議により補修内容・数量を決定すること。

図面番号	第 5 号 21 枚内
図面名称	古豊干地区水路補修工事 補修図 (2) (No. 25+17.0～No. 25+21.8)
縮尺	図示
製図年月日	令和 年 月 日
承認年月日	令和 年 月 日
米子市経済部農林水産振興局農林課	

地区名	東豊田用水路	施工年度	昭和48年
測点	No. 31+34.0 ～No. 31+39.7	縮尺	図示

補修図 (3) (No. 31+34.0～No. 31+39.7)

S=1:50

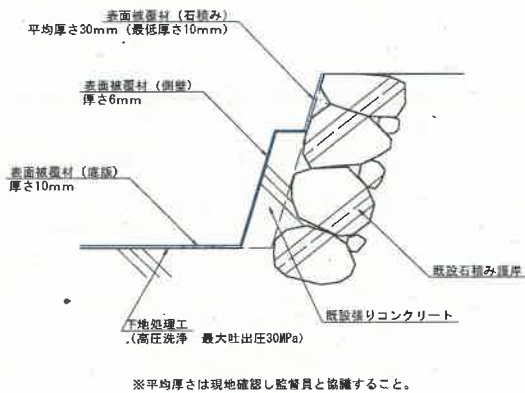


凡例		
クラック 1.0mm未満		ひび割れ注入工
クラック 1.0mm～5.0mm		ひび割れ充填工
クラック 5.0mm以上		
粗骨材剥落		表面被覆工
粗骨材露出		
石積露出		表面被覆工 (被覆厚30mm)
欠損、剥離、浮き、ジャンカ		断面修復工 (修復深さ50mm)
目地劣化・欠損		目地充填工
開き		断面修復工 (充填・修復深さ50mm)
表面被覆工		表面被覆工 (石積: 被覆厚30mm)
		表面被覆工 (削壁: 被覆厚5mm)
		表面被覆工 (底版: 被覆厚10mm)
		表面被覆工 (橋梁: 被覆厚20mm)
土砂増積		表面被覆工 (洗い場: 被覆厚20mm)
張りコンクリート		土砂撤去
埋め戻し		張りコンクリート
		埋め戻し

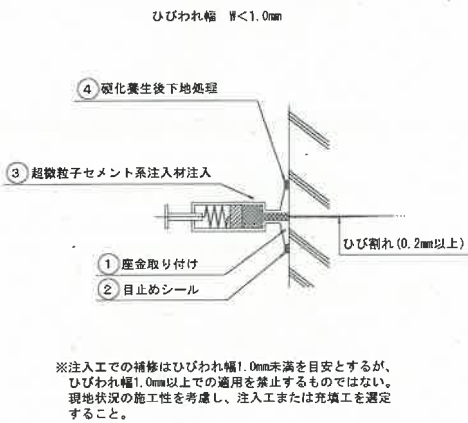
表面被覆工 (単位: m ²)		
番号	t=5mm (削壁)	t=10mm (底版)
1	3.42	
2	3.42	
合計	6.84	

ひびわれ延長 (単位: m)		
番号	1.0mm未満 (注入工)	1.0mm～5.0mm (充填工)
1	0.70(0.45mm)	
2	0.70(0.55mm)	
合計	1.40	

表面被覆工_コンクリート水路 (参考図)



ひびわれ注入工 (参考図)



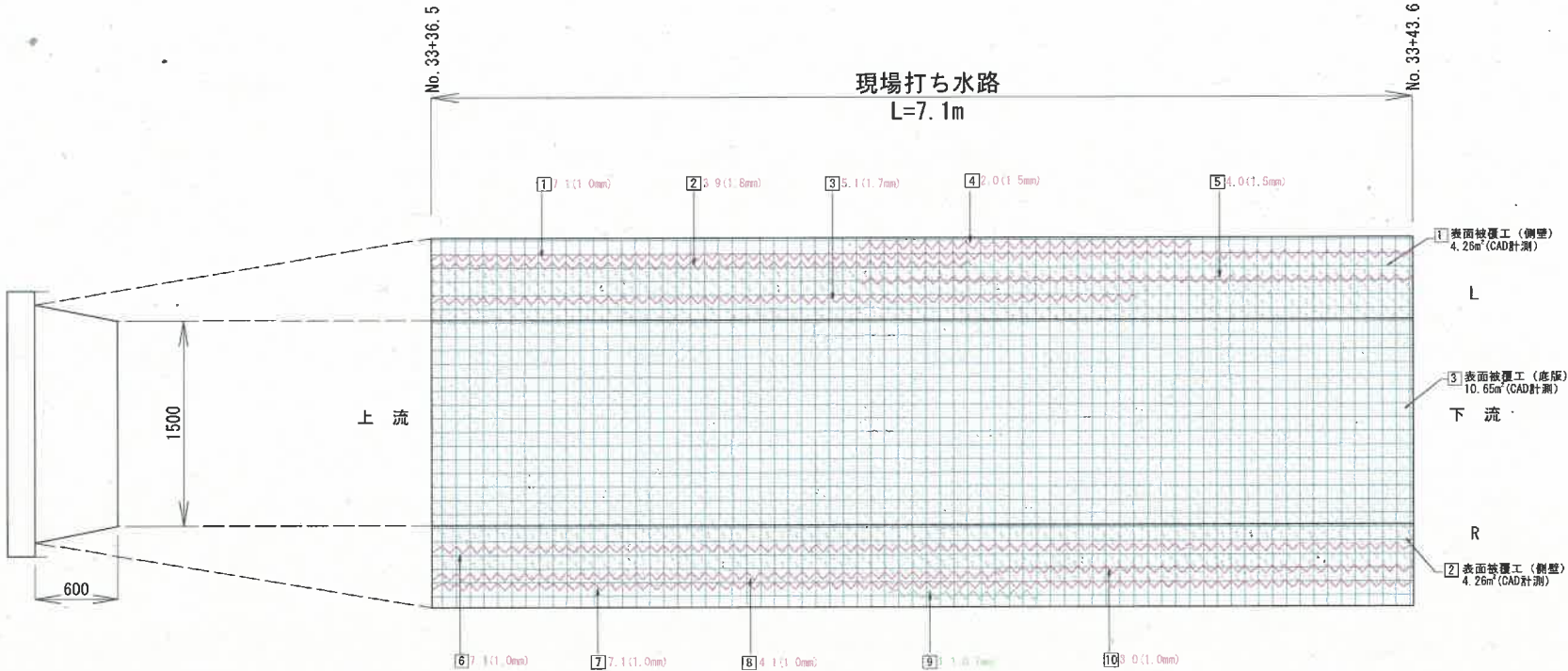
施工上の注意
・本図面は簡易計測結果を基に作成しているため、施工にあたっては、事前に現地調査を行うこと。
・必要に応じて協議により補修内容・数量を決定すること。

図面番号	第 6 号 21 枚内
図面名称	古豊干地区水路補修工事 補修図 (3) (No. 31+34.0～No. 31+39.7)
縮尺	図示
製図年月日	令和 年 月 日
写真年月日	令和 年 月 日
米子市経済部農林水産振興局農林課	

地区名	東豊田用水路	施工年度	昭和48年
測点	No. 33+36.5 ～No. 33+43.6	縮尺	図示

補修図 (4) (No. 33+36.5～No. 33+43.6)

S=1:50

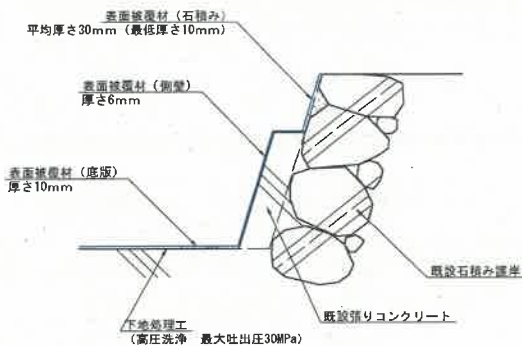


凡例		
クラック 1.0mm未満	ひび割れ注入工	
クラック 1.0mm～5.0mm	ひび割れ充填工	
クラック 5.0mm以上		
粗骨材剥落		
細骨材露出	表面被覆工	
粗骨材露出		
石積露出	表面被覆工 (被覆厚30mm)	
欠損、剥離、浮き、ジャンカ	断面修復工 (修復深さ50mm)	
目地劣化・欠損	目地充填工	
開き	断面修復工 (充填・修復深さ50mm)	
表面被覆工	表面被覆工 (石積: 被覆厚30mm)	
	表面被覆工 (側壁: 被覆厚6mm)	
	表面被覆工 (底版: 被覆厚10mm)	
	表面被覆工 (橋梁: 被覆厚20mm)	
	表面被覆工 (洗い場: 被覆厚20mm)	
土砂堆積	土砂撤去	
張りコンクリート	張りコンクリート	
埋め戻し	埋め戻し	

ひびわれ延長 (単位: m)		
番号	1.0mm未満 (注入工)	1.0mm～5.0mm (充填工)
1		7.1(1.0mm)
2		3.9(1.8mm)
3		5.1(1.7mm)
4		2.0(1.5mm)
5		4.0(1.5mm)
6		7.1(1.0mm)
7		7.1(1.0mm)
8		4.1(1.0mm)
9	1.1(0.7mm)	
10		3.0(1.0mm)
合計	1.1	43.4

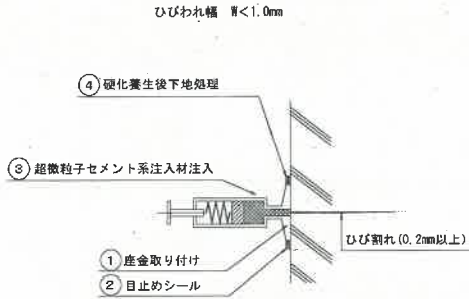
表面被覆工 (単位: m²)		
番号	t=6mm (側壁)	t=10mm (底版)
1	4.26	
2	4.26	
3		10.65
合計	8.52	10.65

表面被覆工_コンクリート水路 (参考図)



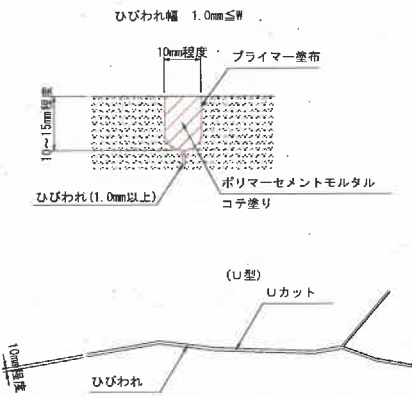
※平均厚さは現地確認し監督員と協議すること。

ひびわれ注入工 (参考図)



※注入工での補修はひびわれ幅1.0mm未満を目安とするが、ひびわれ幅1.0mm以上の適用を禁止するものではない。現地状況の施工性を考慮し、注入工または充填工を選択すること。

ひびわれ充填工 (参考図)



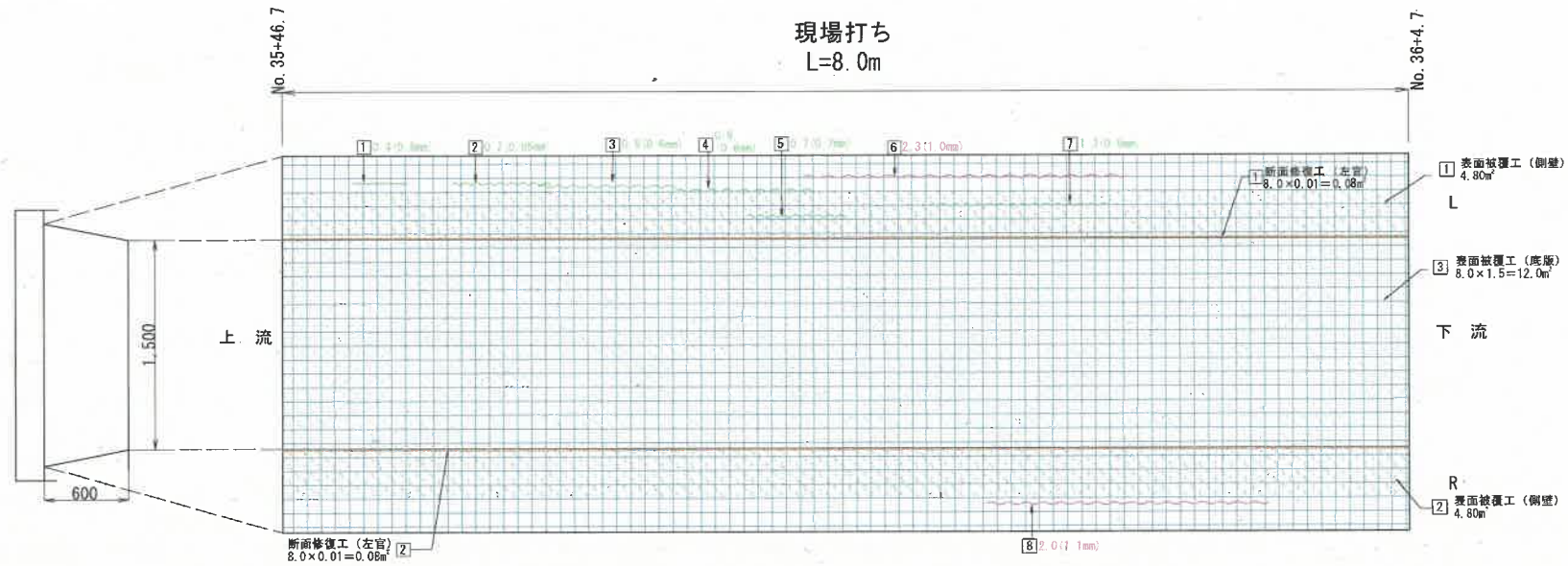
図面番号	第 7 号 21 枚内
図面名称	古豊千地区水路補修工事 補修図 (4) (No. 33+36.5～No. 33+43.6)
縮尺	図示
監理年月日	令和 年 月 日
承認年月日	令和 年 月 日
米子市経済部農林水産振興局農林課	

施工上の注意点
・本図面は簡易計測結果を基に作成しているため、施工にあたっては、事前に現地調査を行うこと。
・必要に応じて協議により補修内容・数量を決定すること。

地区名	東豊田用水路	施工年度	昭和48年
測点	No. 35+46.7 ~No. 36+4.7	縮尺	図示

補修図 (5) (No. 35+46.7~No. 36+4.7)

S=1:50



凡例		
クラック 1.0mm未満		ひび割れ注入工
クラック 1.0mm~5.0mm		ひび割れ充填工
クラック 5.0mm以上		ひび割れ充填工
粗骨材剥落		表面被覆工
細骨材露出		表面被覆工
粗骨材露出		表面被覆工
石塊露出		表面被覆工 (被覆厚30mm)
欠損、剥離、浮き、ジャンク		断面修復工 (修復深さ50mm)
目地劣化・欠損		目地充填工
開き		断面修復工 (充填: 修復深さ50mm)
表面被覆工		表面被覆工 (石積: 被覆厚30mm)
		表面被覆工 (側壁: 被覆厚6mm)
		表面被覆工 (底版: 被覆厚10mm)
		表面被覆工 (側壁: 被覆厚20mm)
		表面被覆工 (洗い場: 被覆厚20mm)
土砂堆積		土砂撤去
張りコンクリート		張りコンクリート
埋め戻し		埋め戻し

断面修復工 (左官)

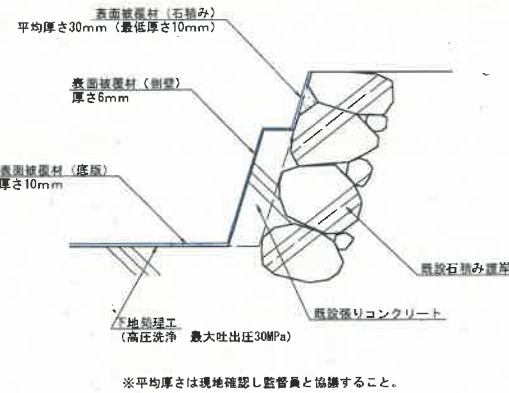
番号	数量 (m2)
1	0.08
2	0.08
合計	0.16

表面被覆工 (単位: m)

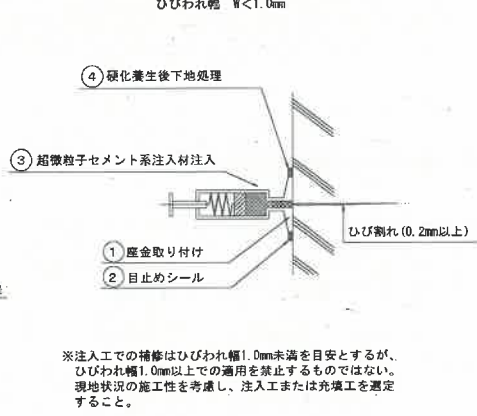
番号	t=6mm (側壁)	t=10mm (底版)
1	4.80	
2	4.80	
3		12.0
合計	9.60	12.0

ひびわれ延長 (単位: m)			
番号	1.0mm未満 (注入工)	1.0mm~5.0mm (充填工)	5.0mm以上 (充填工)
1	0.40 (0.8mm)		
2	0.70 (0.85mm)		
3	0.90 (0.6mm)		
4	0.90 (0.6mm)		
5	0.70 (0.7mm)		
6		2.3 (1.0mm)	
7	1.3 (0.8mm)		
8		2.0 (1.1mm)	
合計	4.9	4.3	

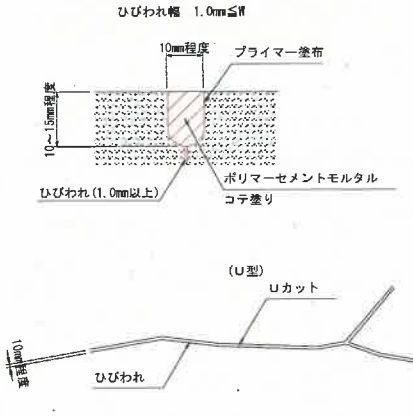
表面被覆工_コンクリート水路 (参考図)



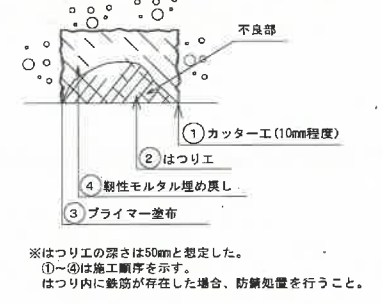
ひびわれ注入工 (参考図)



ひびわれ充填工 (参考図)



断面修復工_左官 (参考図)



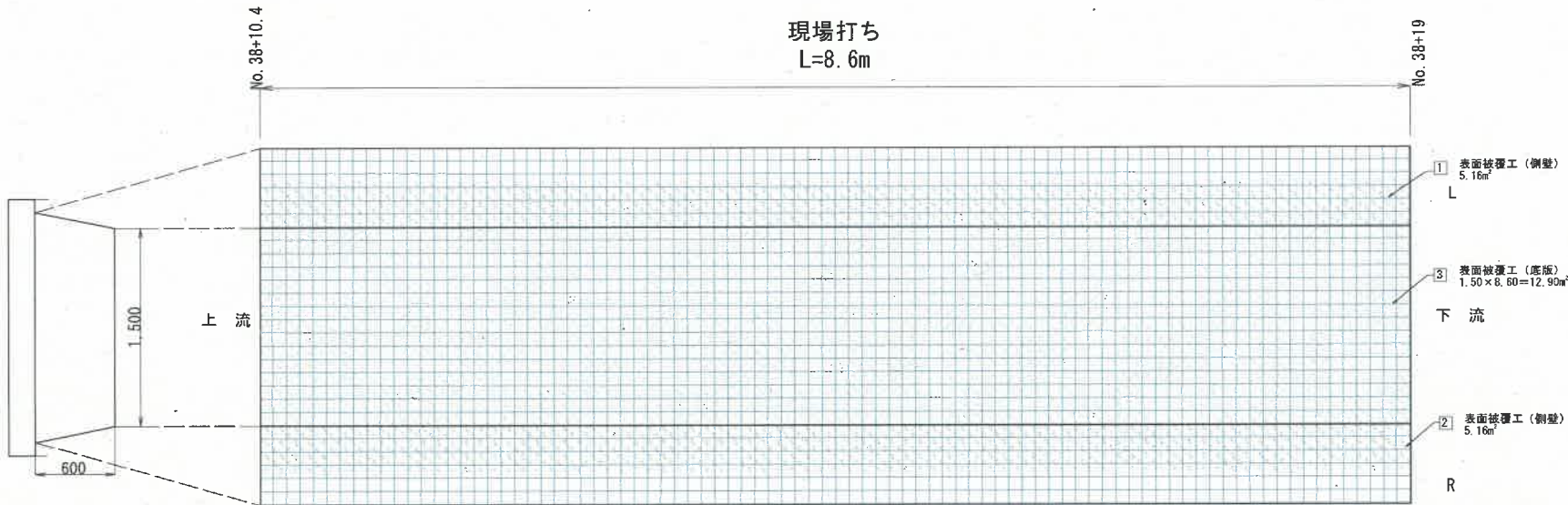
施工上の注意
・本図面は概算計画結果を基に作成しているため、施工にあたっては、事前に現地調査を行うこと。
・必要に応じて協議により補修内容・数量を決定すること。

図面番号	第 8 号 21 枚内
図面名称	古豊田地区水路補修工事 補修図 (5) (No. 35+46.7~No. 36+4.7)
縮尺	図示
製図年月日	令和 年 月 日
承認年月日	令和 年 月 日
米子市経済部農林水産振興局農林課	

地区名	東豊田用水路	施工年度	昭和48年
測点	No. 38+10.4 ～No. 38+19	縮尺	図示

補修図 (6) (No. 38+10.4～No. 38+19)

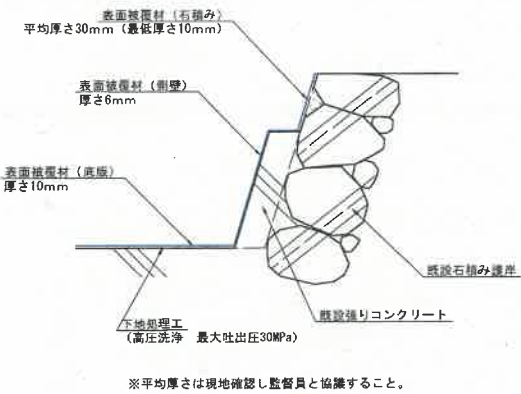
S=1:50



凡例		
クラック 1.0mm未満		ひび割れ注入工
クラック 1.0mm～5.0mm		ひび割れ充填工
クラック 5.0mm以上		
粗骨材剥落		
細骨材露出		表面被覆工
粗骨材露出		
石積露出		表面被覆工 (被覆厚30mm)
欠損、剥離、浮き、ジャンカ		断面修復工 (修復深さ50mm)
目地劣化・欠損		目地充填工
開き		断面修復工 (充填:修復深さ50mm)
表面被覆工		表面被覆工 (石積:被覆厚30mm)
		表面被覆工 (側壁:被覆厚6mm)
		表面被覆工 (底板:被覆厚10mm)
		表面被覆工 (細渠:被覆厚20mm)
土砂堆積		土砂除去
張りコンクリート		張りコンクリート
埋め戻し		埋め戻し

表面被覆工 (単位: m2)		
	t=6mm (側壁)	t=10mm (底板)
①	5.16	
②	5.16	
③		12.90
合計	10.32	12.90

表面被覆工_コンクリート水路 (参考図)

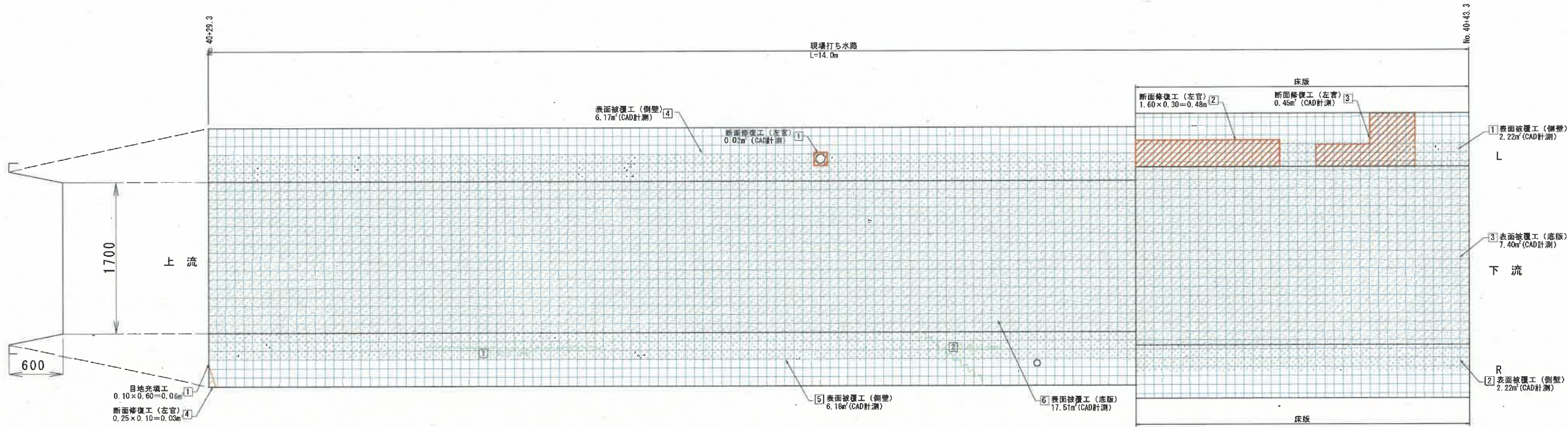


施工上の注意点
・本図面は簡易計測結果を基に作成しているため、施工にあたっては、事前に現地調査を行うこと。
・必要に応じて協議により補修内容・数量を決定すること。

図面番号	第 9 号 21 枚内
図面名称	古豊千地区水路補修工事 補修図 (6) (No. 38+10.4～No. 38+19)
縮尺	図示
起算年月日	令和 年 月 日
写真年月日	令和 年 月 日
米子市経済部農林水産振興局農林課	

補修図 (7) (No. 40+29.3~No. 40+43.3)

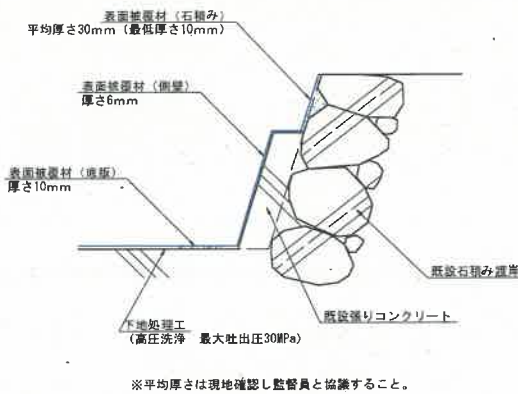
S=1:50



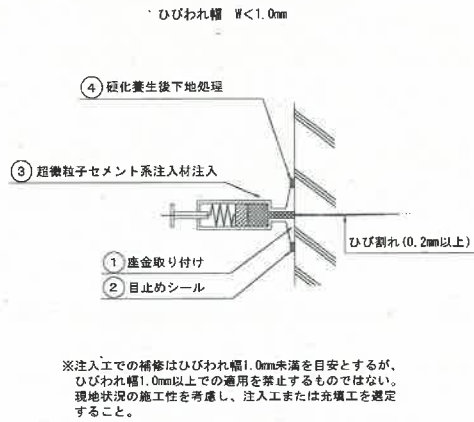
凡例		
クラック 1.0mm未満		ひび割れ注入工
クラック 1.0mm~5.0mm		ひび割れ充填工
クラック 5.0mm以上		
粗骨材剥落		表面被覆工
粗骨材露出		
粗骨材露出		
石積露出		表面被覆工 (被覆厚30mm)
欠損、剥離、浮き、ジャンカ		断面修復工 (修復深さ50mm)
目地劣化・欠損		目地充填工
開き		断面修復工 (充填:修復深さ50mm)
表面被覆工		表面被覆工 (石積:被覆厚30mm)
		表面被覆工 (側壁:被覆厚6mm)
		表面被覆工 (底版:被覆厚10mm)
		表面被覆工 (側壁:被覆厚20mm)
		表面被覆工 (洗い場:被覆厚20mm)
土砂堆積		土砂除去
張りコンクリート		張りコンクリート
埋め戻し		埋め戻し

水路施設一覧表				
番号	施設	位置	測点	備考
①	ヒューム管 (φ100)	左岸	No. 40+36.1	
②	塩ビ管 (φ70)	右岸	No. 40+38.5	
③	床版	左右岸	No. 40+39.6~43.3	

表面被覆工_コンクリート水路 (参考図)



ひびわれ注入工 (参考図)



断面修復工 (左官)

番号	数量 (m2)
①	0.02
②	0.48
③	0.66
④	0.03
合計	1.19

目地充填工

番号	数量 (m)	幅 (mm)
①	0.06	10.0
合計	0.06	10.0

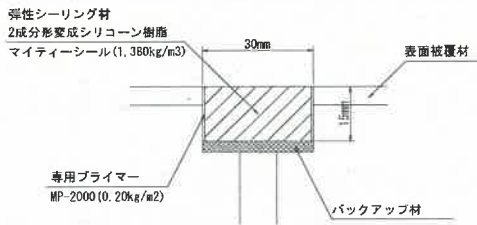
ひびわれ延長 (単位: m)

番号	1.0mm未満 (注入工)	1.0mm~5.0mm (充填工)	5.0mm以上 (充填工)
①	1.9 (0.7mm)		
②	0.9 (0.6mm)		
合計	2.8		

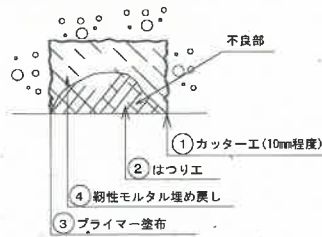
表面被覆工 (単位: m2)

番号	t=6mm (側壁)	t=10mm (底版)
①	2.22	
②	2.22	
③		7.40
④	6.17	
⑤	6.18	
⑦		17.51
合計	16.79	24.91

目地充填工 (参考図)



断面修復工_左官 (参考図)



※はつり工の深さは50mmと想定した。
①~④は施工順序を示す。
はつり内に鉄筋が存在した場合、防錆処理を行うこと。

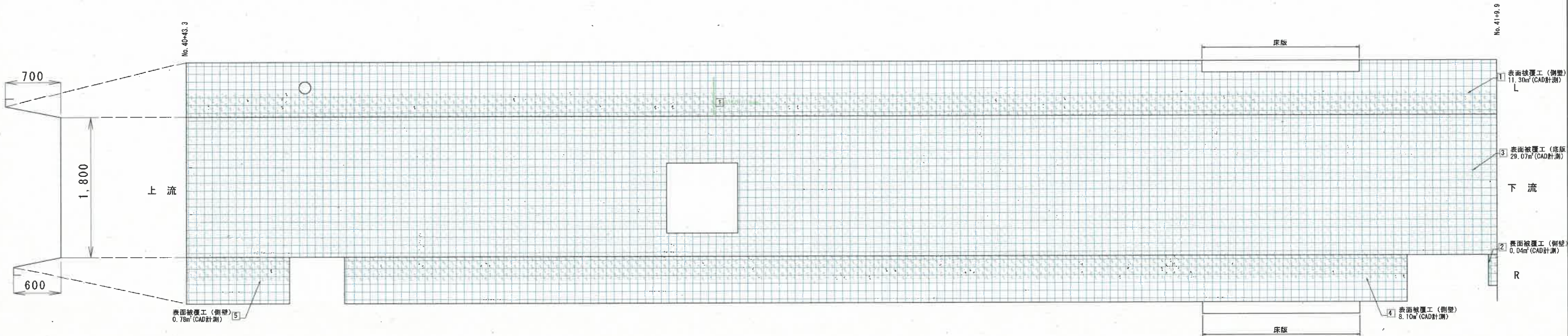
施工上の注意
・本図面は簡易計測結果を基に作成しているため、施工にあたっては、事前に現地調査を行うこと。
・必要に応じて協議により補修内容・数量を決定すること。
・側壁に沿って有線ケーブルが通っているため、施工時はケーブルを避けて施工すること。

図面番号	第 10 号 21 枚内
図面名称	古豊田地区水路補修工事 補修図 (7) (No. 40+29.3~No. 40+43.3)
縮尺	図示
製図年月日	令和 年 月 日
承認年月日	令和 年 月 日
米子市経済部農林水産振興局農林課	

地区名	東豊田用水路	施工年度	昭和48年
測点	No. 40+43.3 ～No. 41+9.9	縮尺	図示

補修図 (8) (No. 40+43.3～No. 41+9.9)

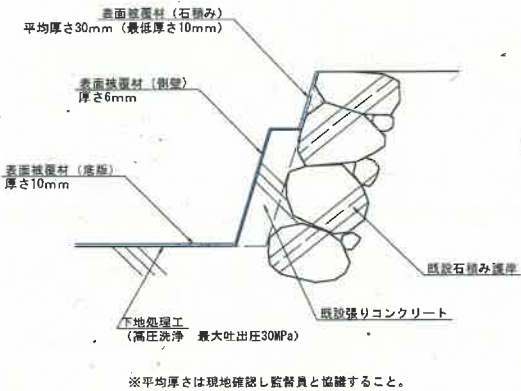
S=1:50



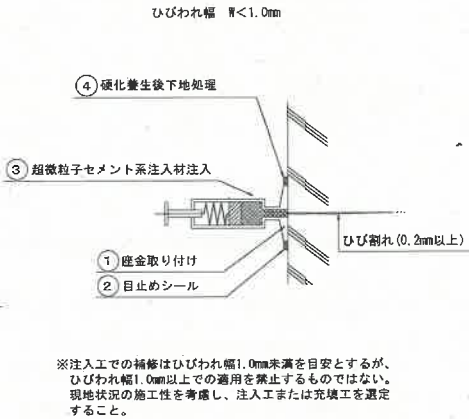
凡例		
クラック 1.0mm未満		ひび割れ注入工
クラック 1.0mm～5.0mm		ひび割れ充填工
クラック 5.0mm以上		
粗骨材剥落		
細骨材露出		表面被覆工
粗骨材露出		
石積露出		表面被覆工 (被覆厚30mm)
欠損、剥離、浮き、ジャンカ		断面修復工 (修復深さ50mm)
目地劣化・欠損		目地充填工
開き		断面修復工 (充填: 修復深さ50mm)
表面被覆工		表面被覆工 (石積: 被覆厚30mm)
		表面被覆工 (側壁: 被覆厚6mm)
		表面被覆工 (底版: 被覆厚10mm)
		表面被覆工 (欄干: 被覆厚20mm)
土砂堆積		表面被覆工 (洗い場: 被覆厚20mm)
張りコンクリート		土砂撤去
埋め戻し		張りコンクリート
		埋め戻し

水路施設一覧表				
番号	施設	位置	測点	備考
①	ヒューム管(φ150)	左岸	No. 40+44.8	
②	水抜き穴	底版	No. 40+49.4	
③	床版	左右岸	No. 40+47.2～49.2	

表面被覆工_コンクリート水路 (参考図)



ひびわれ注入工 (参考図)



表面被覆工 (単位: m2)

番号	t=6mm (側壁)	t=10mm (底版)
①	11.30	
②	0.04	
③		29.07
④	8.10	
⑤	0.78	
合計	20.32	29.07

ひびわれ延長 (単位: m)

番号	1.0mm未満 (注入工)	1.0mm～5.0mm (充填工)	5.0mm以上 (充填工)
①	0.50 (0.9mm)		
合計	0.50		

図面番号	第 11 号 21 枚内
図面名称	古豊田地区水路補修工事 補修図 (8) (No. 40+43.3～No. 41+9.9)
縮尺	図示
製図年月日	令和 5 年 月 日
発注年月日	令和 年 月 日
米子市経済部農林水産振興局農林課	

施工上の注意事項
・本図面は簡易計測結果を基に作図しているため、施工にあたっては、事前に現地調査を行うこと。
・必要に応じて協議により補修内容・数量を決定すること。